

ブックトーク シナリオ

テーマ「子育て」

実施日	平成〇年〇月〇日 (〇)	会場	〇〇公民館 (家庭教育学級) 【対象；母親】	ブックトーカー	佐藤 敦士
ねらい	絵本を通して、子どもを思う親の気持ちと子育てに対する姿勢、家族のあり方を考える機会とする。				

【選書】

	本のタイトル	著者	出版社	コメント
1	いないいないばあ	松谷みよ子	童心社	ブックスタートとして贈られる、赤ちゃんが最初に出会う絵本の定番。赤ちゃんに読んで聞かせた思い出とともに、いつまでも大切にしたい絵本です。
2	ちいさなあなたへ	アルスン・マギー (訳；ながわちひろ)	福音館	子どもの成長に思いを馳せて、母親としての幸せをかみしめる絵本。自分が育ってきた過程と重ね合わせ、親になる素晴らしさが伝わってきます。
3	ちょっとだけ	瀧村有子	福音館	赤ちゃんが生まれ、お兄ちゃん・お姉ちゃんになった子どもの気持ちが伝わってきます。優しい気持ちでいっぱいになる絵本です。
4	ラブ・ユー・フォーエバー	ロバート・マンチ (訳；乃木りか)	岩崎書店	いくつになっても、どんなに手がかかっても、子どもを思う親の心は変わらない。受け継がれていく親子の愛情を描くロングセラー。
5	つみきのいえ	平田研也	白泉社	国際アニメーションフェスティバルで最高賞を受賞したアニメが絵本になりました。家族の小さな幸せを積み重ね、こういう老後を迎えたいです。

【紹介文】

	シナリオ
はじめに	<p>○【★「いないいないばあ」を手にする】この本を、なつかしく思う方も多くいることでしょう。</p> <p>○赤ちゃんだった我が子に、読んで聞かせた思い出……。そんな子どもも、もう（ ）歳。</p> <p>○今日は、小さかったあの頃を思い出しながら、少しの時間を過ごしてください。</p>
紹介	<p>○「ちいさなあなたへ」【★「ちいさなあなたへ」を手にして、P1～9を読む】</p> <p>○みなさんは、子どもの寝顔を見ながら、子どもの将来や成長していく姿を思い描いてみたことがありますか？そういう気持ちで読んでほしい絵本です。</p> <p>○弟・妹が生まれると、赤ちゃんにお母さんを取られた寂しさとお兄ちゃん・お姉ちゃんになった喜びの中で子どもの気持ちが揺れ動きます。【★「ちょっとだけ」を手にして、P24を読む】そんな時、お母さんならどうしますか？・・・お話の中のお母さんは、どうしたでしょう？</p> <p>○親の気持ちは、子どもがいくつになっても、どんなに手がかかる子になっても変わりません。 「アイ・ラブ・ユー、いつまでも。アイ・ラブ・ユー、どんあときも。私が生きている限り、あなたはずっと私の赤ちゃん。」【★「ラブ・ユー・フォーエバー」を手にする】</p> <p>○その子どもを包み込む親の愛情は、必ず子どもに伝わっています。そして、そうして育った子どもは、自分の子どもにも愛情を注いで育てるようになる・・・そういう絵本です。</p> <p>○最後に、この本を紹介します。「【★「つみきのいえ」を読み聞かせる】</p> <p>○幸せは、毎日の家族の小さな営みの積み重ね。子どもたちと過ごした日々や家族の思い出が、心に刻まれ、支えになっていきます。こういう穏やかな老後を迎えたいとおもいませんか？</p>
まとめ	○今日紹介した絵本は、ここに置いておきますので、あとでゆっくり見てください。

【備考】(本の外に使う物やその他メモ)
特になし